



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第346号



我孫子市マスコットキャラクター
「手繪沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

我孫子第三小学校の2年生で Abi-ふるさとの一環として、生活科の単元「わたしたちの町はっけん」で、町探検で行った場所について友だちに伝える授業を展開しました。本時は、発表を通して自分たちの町にある魅力的な場所や人に気づき、自分の思いを伝えることをねらいとしています。施設等との渉外や当日の引率では、学校運営協議会での協議を経て、運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の尽力により、学校と地域が協力した授業になりました。

授業が始まると、屋台方式でポスターセッションによる発表が行われました。発表5分間、それに対する質問と感想が3分間で時間を区切りローテーションをしました。発表者は、作成した資料を手に自分が調べたことを言いたくて仕方がないという様子で話していました。聞き手もどんどんと質問している姿が印象的でした。



全体共有では、「保育園は子どもを預かるだけでなく仕事をしている父母を助けていることがわかった」「郵便局の仕事は配達だけではないことがわかった」など高学年のキャリア教育で学ぶような質の高い意見に驚かされました。今後も地域の力を活用し、「地域に誇りをもち地域を愛する、そして地域の将来を担う人材の育成」が進むことを願っています。

Abi-キャリア「まちのキラリをあつめよう（町探検）」

我孫子第四小学校の2年生が生活科「わたしの町はっけん」の単元で Abi-キャリアの授業を行いました。町探検で発見した、身近な自然や働いている人々について学級の仲間に伝えることをねらいとしています。

町探検の感想を先生に聞かれると、「人生で一番楽しかった。」「いつもは入れないところや見られないところを見ることができて嬉しかった。」「他のグループが行ったところにも行ってみたい。」など、町探検に行った時のことを思い出しながら嬉しそうに答えていました。その後、見てきたことをお互いに伝え合いたいという意見から、発表会を行うことを決めました。黒板には「町たんけんで行ったところについて2年生で発表会をしよう」と目標が示され、探検した場所のすてきなところ（きらきら）を集め発表することにしました。ワークシートが配られ、探検先の設備や人気の商品など、児童一人ひとりがそれぞれの目線で気付いたきらきらを記入しました。ワークシートを書き終わると一緒に探検に行ったグループに分かれ、自分が見つけたきらきらを伝え合いました。



今後は、グループごとに発表の内容や方法を考え準備をしていきます。発表会でもたくさんのきらきらを共有し、笑顔あふれる学びの場になることが感じられる授業でした。